

「緑の学校」のある街。

全日本学校環境緑化コンクール特選

熊本市立託麻原小学校

阿蘇火山の噴出物によってできた阿蘇山西斜面に広がる台地を肥後台地とよび、北は菊池川・南は木山川西は井川まで及んでいます。この肥後台地は、北と南に大別され、南部台地はさらに二つに分かれており、白川流域を託麻原台地、木山川流域を木山台地と呼びます。



国土緑化推進委員会主催の全日本学校環境緑化コンクールで五十九年度の特選となった熊本市立託麻原小学校は、この託麻原台地の西の端近くに、今から三十年前の昭和二十九

年に創立されました。創立当時、木一本ない広っぱにポツンと校舎が建っていたのですが、「緑の風の吹くところ」と校歌にまで歌ってあるように、地域の人々や職員それに児童達の緑化に対する真剣な取り組みにより、今では「愛鳥の森」や「ふるさとの森」と名付けられた緑陰ができるほどになりました。児童たちは、木々とのかわりの中で、お互いに、すくすくと成長しているようです。



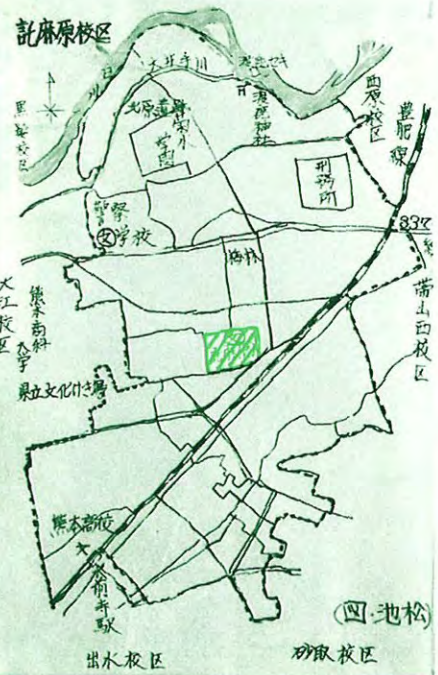
この新聞を制作した熊本市立託麻原小学校六年生のみなさん



私たちの学校は五十九年度全国環境緑化コンクールで特選校に選ばれ文部大臣賞、NHK会長賞をうけました。木一本生えていなかった学校が創立三十一周年目でみどりの日本一になったのです。学校紹介NHK合唱コンクール47年にお子き二度目の栄冠



わが託麻原小学校は男子女子合わせて計一七五八人と三三の先生方の創立三十周年をむかえ式典などの行事も行われまじ部活動は野球、水泳、ミニバスケット、剣道、陸上、サッカー、コーラスのワッパがあり、またどの部もNHK全国合唱コンクールでは昭和四十七年全国最優秀校に選ばれたと、お子さんの賞をもちたいです。以上部活動の紹介です。託麻原の生徒は他の学校に負けないくらい良い学校にしようと思っています。



四年 宮崎明子 みんなが森の中で遊んでいる。木の上にも、木の下にも、風が吹く。フタナブ。ゆりの木。さくらの木。枝と葉、葉っぱと葉っぱ。ゆれあうお話しして。ゆらゆらお話しして。フタナブ。ゆりの木。さくらの木。枝と葉、葉っぱと葉っぱ。ゆれあうお話しして。ゆらゆらお話しして。

詩 十六歳の赤い尾の羽のヒレンジャワの木のほが、100羽もや。緑の少年団 卒業生のおくりもの

A large green-themed illustration and text block. It includes a 'Green Day' (緑の日) section with a '賞記念 大木さし 5月23日 緑の日 3年以上' award notice. It features a '渡鹿の伝説' (Legend of the Deer) section with a drawing of a deer and text about its origin. There is also a '史跡訪問' (Historical Site Visit) section and a '緑のニュース' (Green News) section with a drawing of a train. The background is a large green leaf graphic.

木の上の家 造って、そこにねとまりしたい。そして、野鳥とお話ししたいなあ。他の木の友達の家に移るときはリフトがつれていってくれる。

街 校 託麻原 美しく正しく強く 風ふくみどりの 緑のニュース